

## 聖マリアの日及びAlecia司祭就任式説教和訳(Rev. Dr. Jason Byassee, 2021-8-15)

ガラテヤ4:4-7 「しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。あなたがたが子であることは、神が、『アッパ、父よ』と叫ぶ御子の靈を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。ですから、あなたはもはや奴隸ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです。

ルカ1:46-55 「そこで、マリアは言った。『わたしの魂は主をあがめ、わたしの靈は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。その僕イスラエルを受け入れて、憐みをお忘れになりません。わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対して、とこしえに』」。

ルカ2:1-7 「その頃、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおののの自分の町へ旅立つた。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上がって行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである」。

私はここに参列し、この聖十字教会でAlecia Greenfield 司祭の宣教を祝福する言葉を差し上げることができて光栄です。私は以前に就任式を一二度行ったことがあり、何かを悟るのです。バンクーバー神学校の宣教する教授ですが、普段は学生になぜキリスト者なのかと尋ねる機会を持たないので。なぜ彼らは牧会の道に入るのか。なぜ彼らなのか、かれらは誰なのか。授業は10週間を残すのみで、教えることが残っています。

しかし今日のような式典で私は学ぶのです。Alecia司祭、あなたはなぜキリスト者なのでしょうか？ あなたは牧師としてどのように導いて行くのですか？ あなたの宣教の夢は？ 神の世界の夢は？このような事を言って私は戸惑っています。しかし理に適っています。私は学生を評価しています。成績を付けます。彼らが牧会に入る推薦を行います。ごくまれには、推薦をしない事もあります。教室には権威が存在し、私は持っています。Alecia司祭は私に、子供ではないと指摘しました。司祭と私は歳も学問も同世代です。

Alecia司祭は私が持っていない経営の学位を持っています。彼女は子供ではありません。司祭は自分が誰だかを知っています。議論をすると彼女はリスクを取る意志があるのです。「みなさんに言わせてもらえるなら、牧師はもっとリスクを取る意志が必要です。私たちには余りにも注意深かったことから苦しんでいます。十分な勇気を持たないので」。Alecia司祭、親愛なる姉妹、導きなさい。私たちはそれをもっと必要としています。

ここには司祭が主張する一つのリスクがあります。それは彼女だけが司祭ではないのです。単にキリスト者です。彼女はよき聖公会信徒でもなく、単に牧師です。

主よ、私たちを助けてください。イエス・キリストはご自身の人々を、世界に向かう牧師、(pastor)、キリスト者、司祭(priest), 聖職者(minister)と呼んでおられる。

Alecia司祭の最優先課題は、自分の仕事を与えることです。人々を立ち上がらせるために。人々を仕事に招くために。敬愛する聖十字の兄弟姉妹よ、お願ひです。

Alecia司祭が行動するまで待たないでほしい。自分自身で行動してください。

導いてください。いろいろと試みて、失敗する勇気を持ってください。

みんなさんは踏み誤まることもありますが、私を信用してください。

みんなさんはその時、何を間違ったかを議論しなければなりません。それは自然なのです。だからイエスは私たちが何度も赦すようにとお命じなっているのです。

他人を赦したなら、あなたの愛と信頼が大きくなるでしょう。

再び行動するなら、あなたは義により近くなるでしょう。

Richard Rohr (カトリック司祭、霊的作家) は、前に向かって失敗をしない下さいと言う。より速く失敗する。赦す。再び行動する。余り困難でなければ、もう一度挑戦をする。

Alecia司祭がアーティストとなれるように、少しの余裕を与えてほしい。

彼女は役員でも管理者でもないのですが、彼女はこれらの事ができます。

伝道師だけではなく、それについては、ほんとにすごくよくできる姉妹です。

聖典の司式をして神のように世界を祝福するだけの司祭だけではないのです。

それが（牧師として）すべてですが、もう一つあります。司祭はアーティストなのです。美を創造します。アーティストであるためには、熟視する、熟考する、作る、作り直す、誤る、再び試みる、このような時間と余裕が必要です。ともあれこのことを覚えてほしい。神が司祭を創造的な人にされたので、彼女にはどうしようのない事なのです。

それがみなさんの司祭です。司祭の創造を祝福しよう。司祭のために祈ろう、励まそう。

司祭室に来る時、彼女が祈っているのを見るでしょう。－そしてあなたも加わるだろう。

しかし司祭が何か現実的な事をすると思わないでほしい。

祈りはもっとも現実的なことであり、それが彼女の最初の仕事なのです。

あなたのために、隣人のために、世界のために祈ります。司祭に感謝しよう、励まそう、祝おう、そして祈りに参加しよう。これが人々の祈りなら、地球のこの小さな一区画は違ったものになるでしょう。私は約束します。

私の一存で話すなら、ナザレのマリアは未婚の年少者（16歳以下）である。重んじられない、何も起こらない（静かな）町の者である。ナザレから数マイルのSepphoris のような所である事が起きた。そこにはローマ帝国のコロニーで、劇場や商業施設があった。この事は新約聖書では触れていない。なぜならイエスと弟子たちは一度も行っていない。

その場所は多神教の神が祭られ、兵隊、異教徒が支配していた。大切な事がガラリア湖のカエサルで起きた。イエスと弟子たちが、結局は住みついて伝道をした場所である。

ローマ総督、他国籍軍隊、寺院が存在したエルサレムで出来事が起きた。

ナザレでは何も起きなかった。そこには125人の人々が存在していた。

ほとんどが親戚関係にあり、誰もがみんなを知っていた。

未婚の少女が妊娠すればどんな事が起きるかを、マリアは十分に知っていた。

その赤子が神から授かったと言い張っても。その通りだ。

以前に聞いた事があるのだが、誰かが大量の石を取りに行くだろう（石打の死刑）。

主から遣わされた御使いが現れ、ある指図をした。マリア！ 私ですか？ あなたです。

他にマリアはいるのですか？ いいえ。あなたは誰のですか？ ガブリエルです。

神から遣わされました。いいですか、あなたは子供を授かるのです。私はまだ子供です。

お黙りなさい！ あなたは子供を授かるのです。この子供は神の子供となるのです。

この子によって神は全世界を救われるのです。何か言う事がありますか？

これはうまく行かないと考える理由があった。同じ御使いガブリエルはその前にザカリヤの前に現れていた。ザカリヤはマリアのいとこであって、神殿で働いている祭司である。祭司はイスラエルの罪のため、一年に一度、聖なる聖なる捧げものをする。そして人々と世界への祈りを捧げる。御使いはザカリヤの前に現れて言った。「あなたは子供を授かるのです。この子は世界を救うメシア到来を知らせるでしょう。何か言う事がありますか？」

\*ザカリヤの妻エリサベスは高齢で妊娠し、洗礼者ヨハネを生む。

イスラエルの罪のあがないと世界の救済にとっての重要な試みに、ザカリヤは口ごもる。彼のすべての学問の蓄積、準備、教育と特典がザカリヤを準備させたが、フレーク状にはがれ落ちる。あなたが何か失敗したことを考えたなら、友よ、それはよい知らせである。ザカリヤ、洗礼者ヨハネの父、イスラエルの祭司、そうです。ここで何かが起きる。

「あのう、ガブリエル様、私は祭司です。私はこの神殿に毎日参拝しています」。

決して起きなかった一つは、御使いが神からの知らせを持って現れなかったことだ。

それは救済の新しい何かの知らせである。起きるはずがない。

私はバンクーバー神学校の神学修士を持っており、それを証明する。ガブリエルは言う。

「あなたはこれ以上話すことが許されない」。それは完全な処罰である。

もし全世界を祝福する神の知らせを聞かないなら、あなたは話すことが許されない。

同じ御使いがあまり有望ではない人の前に現れる。マリアはその時代において、不当に扱われた性別であった。未婚の少女が妊娠して現れるなら石打の死刑とされ、未婚の男は妊娠させても平手で打たれることさえない。マリは不当な時代の人である。

未婚のマリアは12歳より少し上であったと、聖書学者は考えている。

マリアは無学であり、読み書きができない人であったようだ。

もしマリアが読む事ができるなら、どのようなのかは分からぬが、アーティストは本を読むマリアの肖像画を、多分、控え目に描いただろう。

マリアは、ザカリヤの名声、教育、博識、文化の権限あるいは権威を持っていない。

彼女は誤り、誤り、誤り、であった。そしてこれは鍵となる瞬間である。

世界の救済、神が作られたすべての微粒子、創世記から今にいたるすべての原子、

これらすべてを、神が気紛れな年少の少女に委ねられたのは不思議である。

救いを求めるすべての創造物は、幼い少女の言葉を期待する呼吸をして待っている。

彼女は何を言っているのか？ ザッカリは言った「何も」。

マリアは言う「私は乙女なのになぜこのようになるのですか？」。

懐疑的な質問であるが、質問である。難題である。心配しないでとガブリエルは言う。

神は無からすべてをお作りになり、あなたの潔白の胎からすべてを作り直される。

マリアは話すのを止める。そして御使いは言う「この事は本当に美しいので、あなたに黙っている事ができません」。マリア言う…OK。あるいはもっと平凡に「ここに神が手で作られた私がいます。あなたの言葉によって私になされました」。

彼女の胎、どの男からも触れられていない胎は、天地万物の神によって触れられる。

そしてイエスは成長を始める。細胞は分裂を始め、マリアに兆候が現れ始める。

男には決して起きないことであるが、妊娠のすべての困難さをあなたの方の多くが経験している、それがマリアに起きる。足がむくみ、偏食になる。大変化が起こる。

予測ができる安全だった体が不安定になる。形が崩れ、不釣り合いになる。

未婚であるマリヤはこの事を人々に話す理由はない。

それよりも御使いの物語と、世界を救済する課題を話すのだ。

あなた方の宣教に問題があると思いますか？

神はいつも、約束されたより少ない材料でみ業を行われます。

そしてこれがAlecia司祭の、ここでの宣教に、私は大いに確信があるのです。

私はあなた方の聖十字のことを少しだけ知っています。

この教会は悔い改めと和解の一部として、聖十字社会に与えられたと理解しています。

それは第二次世界大戦中に、日系社会が強奪され、収容され、補償は全くされなかったからです。私の故郷であるアメリカでも、同じ戦争中の日系アメリカ人の取り扱いは、同じ理由で、いつも嘲弄されていました。実際には祝福されたカナダでは、あなた方ほどには

酷くはなかったのです。これはコンテストではないのですが、もしそうであったら（酷さから）アメリカは負けたのです。みなさんはここで1980年代初期から宣教をしています。

私はVancouver Chinese Presbyterian Church で、英語と広東語礼拝で説教をしています。

この国の不当な扱いと未来の不安がある移民社会を少し知っています。

アメリカ人の私より、はるかにカナダ人の道を歩むあなた方を知っています。

ある人たちは、2015年に移ってきた私よりもっと後にカナダに来られました。

何世代にも渡る移民社会では、あなた方はその社会の小さな延長上です。

この場所に、友達、食物、母から教えられた母国語での祈りがあります。

この場所で、イエス・キリストに従う自分自信になる事ができます。素晴らしい！

Alecia司祭はデンマーク移民の娘さんです。私はフランス移民の息子です。

バンクーバーで唯一移民者でないのは先住民族です。従って見落としてはいけません。

今、すべての私たちの良識は少なからず、北アメリカ歴史には前例がありません。

みなさんは神がここで何かをして下さると思いますか？ 私はそう思いますが、何を？

Alecia司祭は自分の賜物を知っています。司祭は8歳の時から召命を感じ取っています。

司祭がいろいろな夢を描いていた時、宣教への夢も入っていたのです。

家族は熱心な教会人ではなかったし、実際に教会へ行くのは勧めていなかったのです。

司祭は勉学をするためにUBC に行きましたが、どんな事を、宗教ですか？

優秀な教授が仏教を教えました。司祭はできるだけ多くの科目を取りました。

仏教徒は苦痛を理解していると司祭は言います。教授陣はよく教えていました。

Alecia司祭は自分が共有する以上のものと向かい合いました。これは司祭が話すべきです。

仏教の答えは、無心になる事であった。自我から解放されること。

一滴の水より大事なことはない。そしてその日を過ごせないなら、2の数字を数えなさい。

いいですか、4を数えるのです。いいですか、今、次の30分をやり過ごすのです。

このようにしてその日をやり過ごすのです。依存から立ち直ります。

自分の力を見せるな。無心になれ。恵みの道を探れ。

しかしAlecia司祭は、クリスチャン家族であることからの文化を覚えていた。

カナダはクリスチャン国家として覚えられている。もうそうではない。

もう長い間そうではない。聖公会に属することは、カナダでは支配体制に入ることであり、信用され、裕福層に属した時代があった。それは終焉した。

Alecia司祭の両親が子供の頃に、それは終焉した。私の両親が子供の時でもあった。

バンクーバー神学校(VST) の聖職候補生の誰もが、社会や金融関係に進まない。

Alecia司祭のように、彼らはそこに存在する。

なぜなら候補生達はイエスとの奇妙な経験を持っており、友達や仲間と共有したいのだ。  
この姉妹はイエスに熱中している。司祭はイエスのことをもっと知りたいのだ。  
あなた方とイエスを共有したいのだ。警告、これは危険なことである。マリヤを見なさい。  
マリヤは残酷な死のリスクを取った。それでもマリヤは「はい」と言った。  
聖霊がマリヤを包んだ。最も高き力ある方がマリアを包んだ。  
マリヤから生まれる子は聖なるもの、神の子と呼ばれる。  
神はそれでも生まれさせるために、潔白な胎を選ばれる。  
それでも誤った人種と文化、重要でなく、考慮のない、不当な扱いの場所へ行かれる。  
あなたに言う。あなたは完全である。しかし待ちなさい。私は待てない。  
私は誤った性別である。誤った人種である。誤った社会経済学教室にいる。  
誤った年齢である。誤り、誤り、誤り。神はよろしいと言われるのを知っている。  
私はただ誤った人々を選んだのだ。ゲームなのか？

Wi

Willie Jennings, イエール大学のバプテスト神学者は、マリヤのyes から救済が始まったと述べている。マリヤは神から、世界の救うというおかしな計画を最初に聞いた人である。片田舎の未婚のユダヤ人ティーンエイジャーに認められない妊娠によってだ。はいと言う。私はそれを行います。私は体を直線上に置きます。私の人生、私の未来、私のすべてです。私の体から神ご自身を誕生させます。私はこれが危険であるのを知っています。  
Noと言う方が簡単である。しかし簡単であることは何がよいのだろうか？  
人生が安全になるのか？ 人生を生きるのに安全な道はない。  
もしあなたが人生を妥協して歩むとするなら、すぐにカナダやアメリカのような国的一部になるだろ。それは寄宿舎学校、人種偏見の恥すべき歴史となり、受け止めるより批判にさらされる苦痛の道を歩む。無力になろうか？ 祈り？ 救し？  
誤った道で事をなすのか？ 神の道なのか？  
私たちの腹が膨らみ始めているか、足が痛み始めているか、偏食になっているかを調べてみよう。そして神は私たちを通し、痛みを持ってお生まれになるのか？  
神はバンクーバーMain St. の日系聖十字教会を通して福音を伝えられるより、  
より奇妙な事をされた。あなたは見るだろう。  
いつの日か、全員が見るだろう。  
ハルルヤ、アーメン。

(文責長澤猛)